

四季のたより

む つ み



発行日 令和4年5月15日
発行所 〒238-0031
横須賀市衣笠栄町4-14
社会福祉法人 阿部睦会
共楽荘
電話 046-851-1904 (代)
ホームページ
<https://kyourakusou.jp/>
E-mail
kyoraku@violin.ocn.ne.jp
編集 「むつみ」編集委員会
発行人 阿部 厚三
印刷所 コージープラン

出会い・ふれあい・喜び



令和4年4月1日(金)特養ホーム・むつみ保育室 お花見会

「ありがとう」と言える毎日を…



養護老人ホーム 共楽荘
主任生活相談員

永井 大輔

みなさまは日常生活で「ありがとう」と言えることが出来ていますか？

新型コロナウイルスは、全世界で私たちの生活様式とその心に大きな変化を与えました。

私たちが当たり前と思う便利な生活はさまざまな自然災害で滞り、影響を受けてしまいます。

「朝起きて太陽を拝む」これは当たり前のことですが、実はとてもありがたいことなのです。だからこそ私たちは、「当たり前」への感謝を「ありがとう」と伝えることが大切です。

「ありがとう」には不思議な力があり、自分だけでなく、まわりも穏やかになります。

私自身も「ありがとう」を心掛け、日々過ごしたいと思います。

みなさまもどうぞ身近な人へ1回でも多く「ありがとう」と思い、言える機会を見出してみてください。

養護老人ホーム 共楽荘

援助方針

身体機能が比較的高い高齢者に対し、良質な衣食住環境の提供、介護予防のための健康体操や施設行事・クラブ活動を通じた余暇活動の充実と仲間づくり、必要な生活支援及び身体介護サービスの提供、そして日々の健康管理を行います。

方針の具現化に向けて

- (1) 生活支援・介護サービス
移動、排泄、入浴、食事、整容、環境整理、洗濯、居室などの清掃、ひとりりて外出が難しい入居者の外出支援、日用品の購入など日常生活について支援を行います。
常態的に介護が必要となった場合は、計画作成担当者がケアプランを作成し訪問介護や通所介護を利用することにより必要な身体介護を行います。
- (2) 余暇活動の支援
生活に変化と楽しさを感じていただけるよう、クラブ活動、グループワーク、施設行事を実施します。
- (3) 健康管理
ご入居者等の健康管理は共楽荘診療所医師を中心とした多職種連携により実施することを基本とします。
- (4) 財産保全サービス・各種申請の代行
預貯金など個人財産の自己管理に不安がある場合、ご入居者等からの依頼に基づき預金通帳の管理や入出金の代行、小口現金の管理等を施設が行います。

共楽荘特養ホーム

援助方針

介護保険法、法人基本理念のもと、一人ひとりのニーズを把握し、ケアプランに沿ったチームケアの提供をします。

方針の具現化に向けて

- (1) 介護サービス
コミュニケーションの充実を図り、心身の状況をよく把握し、利用者本位、自立支援を基本に据え、一人ひとりの個性が反映されたケアプランに沿った介護サービスを実施します。
- (2) 機能回復訓練
機能回復訓練については、言語リハビリ、歩行訓練、生活リハビリ、離床リハビリ、訪問マッサージといったリハビリメニューを、ケアプランに位置付け提供します。
- (3) 生活の質 (QOL) の向上
生きがいと楽しさを持ち、生活できるよう5種類の余暇活動やさまざまな施設行事などレクリエーションの機会を提供し、社会参加や家族との交流、ほほえみのある暮らしの場づくりの支援を実施します。
また、ご入居者等の誕生日に実現可能な望みを伺い、思いに寄り添った誕生日会として好評をいただいている「あなたの望み叶えます」について今年度も実施し、ご入居者等の笑顔、ご家族の笑顔、職員の笑顔が施設全体に広がっていくよう継続していきます。
- (4) 感染症予防対策
新型コロナウィルスやインフルエンザ、ノロウィルス、疥癬、肺結核等の施設内集団感染の予防対策と患者発生時の素早い抑え込み対策が重要であるという観点から、周辺地域の感染症・食中毒流行状況を把握した上で感染症対策・食中毒予防委員会にて対応策を決定します。また、年間を通してスタンダードプリコーションの徹底などの予防策を実施します。
- (5) 身体的拘束等適正化
「身体的拘束等については原則これを行わない」ことを方針とし、今後代替介護の工夫と実践、身体的拘束の弊害や拘束しない場合の事故のリスクを家族に十分説明し理解を得ることで身体拘束のない施設ケアが継続できるよう努めます。
今年度も引き続き身体拘束や高齢者虐待の防止に加え、不適切ケアの防止に取り組んでいます。この意識を高めるために疑問に思った時等は職員同士すぐに声を掛け合える職場雰囲気醸成をします。
- (6) 介護事故防止対策
介護サービス提供時に起こるご入居者等の転倒・転落や誤薬などの介護事故については、可能な限り事故防止に取り組んでいます。また、KYT(危険予知トレーニング)の手法を取り入れ、一人ひとりの職員が介護事故防止に向けた「気づき」が得られるよう取り組みを進めます。フロア毎に介護事故・アクシデントの上限値目標を決め、「介護事故ゼロ」への取り組みをすすめています。

令和4年度 運営方針

今年度は以下の項目を掲げ、職員協力体制の中で地域に信頼されご入居者・ご利用者(以下「ご入居者等」という)が安全・安心のなか、健康で生きがいをもって生活が送れるように高齢者福祉施設としての位置付けを図ります。

運営指針

- ◇地域に信頼され親しまれる施設づくり
- ◇資格の取得と専門性の維持向上
- ◇報告・連絡・相談(ほうれんそう)の徹底
- ◇利用者一人ひとりが健康で生きがいのもてるサービスの提供
- ◇その人の望んでいるその人らしい生活援助
- ◇防災に意を用い災害の未然防止に取り組む

新しい年度はコロナ禍3年目を迎え、基本的対応の徹底を図り、感染予防とクラスター防止に全力を挙げてまいります。また、職場環境の改善を図るため前年度導入した介護ソフトの安定的な運用、そして共楽荘で先行導入したタブレット端末などICTの介護サービスへの活用を推進し、もって「施設単位の経営」から「法人単位の経営」を目指し、その基盤整備に努めてまいります。

共楽荘特養A棟(特養ホーム/診療所)建替工事については、制度面、技術面にわたり慎重な検討が必要であり「共楽荘A棟建替等検討委員会」において今後詳細な検討を進めてまいります。

事業の発展のためには具体的な計画性、及びこれを支える職員及び組織体制の確立が重要であるので、「阿部睦会中・長期計画」に基づき、各種事業を計画的に進めてまいります。

「働き方改革」の取組みも継続し、処遇改善、福利厚生の拡充、スキルアップへの支援などを行い、一人ひとりの職員のワークライフバランスの実現に向けて、生き活きと働ける職場環境の整備を進めてまいります。今年度も諸課題に向けて果敢に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。職員一同夢をもって取り組んでいきましょう。

衣笠第一地域包括支援センター

援助方針

高齢者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、可能な限り自宅において自立した日常生活を営むことができるように、意思及び人格を尊重し、保健・医療・福祉と綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

方針の具現化に向けて

- (1) 包括的支援事業
 - ① 総合相談
地域に住む方、その家族、近隣の方、民生委員等からの相談内容により地域におけるフォーマル、インフォーマルサービスを含む必要な関係機関につなげるなどの総合的な相談、支援を行います。
 - ② 権利擁護
地域の皆さんが安心して暮らすために、成年後見制度の紹介や虐待、消費者被害の早期発見・把握に努め、他の関係機関と連携して地域の皆様のさまざまな権利を守ります。
 - ③ 介護予防普及と支援
地域の方々が出来る限り住み慣れたところで、自立した生活を送ることができるよう65歳以上の方へ介護予防の普及、啓発を推進します。
 - ④ 介護支援専門員への支援
処遇困難ケースや相談ケースの支援を通じ、地域の介護支援専門員との連携強化、また、事例検討会などを定期的に企画、実施することでお互いの資質の向上を図ることに努めます。
 - ⑤ 地域ネットワークづくり
地域の民生委員、福祉推進委員と連携をすることで、地域の特性を知ることができます。また、必要な関係機関や家族と連絡を取り、自宅での生活を安心して過ごすことができるよう支援していきます。
 - ⑥ 第2層生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーターの配置)
多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることができるよう支援をしていきます。
- (2) 指定介護予防支援事業
事業対象者・要支援1・2と認定された方のアセスメントに基づき自立支援や生活改善に向けた、介護予防サービスとケアマネジメントサービスの必要性を確認し、迅速にサービスを利用することができるよう支援していきます。
- (3) 実習生の受入れ等
各種実習生を受け入れます。

共楽荘診療所

援助方針

健康で快適な生活を送っていただくため、予防医学管理と、併せて持病の不快感をいくらかでも軽減することを目標とし、特に死因統計上の上位を占める心・血管系の疾患の発見、治療及び管理に重点を置き、その状態を把握し、高齢者の健康保持に努めるとともに、薬品整備及び医療機器の充実を図ります。

方針の具現化に向けて

- (1)ご利用者自身による自己の健康状態の把握
些細な不調でも積極的に受診していただき、納得の上での健康管理に努めます。
- (2)ケアワーカーへの支援
ご利用者の健康を積極的に維持するための教育、各種指導を年間計画の中で実施します。
- (3)尿路感染症、褥瘡予防対策
入院患者から尿路感染、褥瘡を発生させないために陰部洗浄の徹底、ポジショニング及びエアーマットの工夫と施行。
- (4)ICT化の推進
職員は活用するICT機器の習熟をし、業務の効率化を図り、ケアの質の向上を目指します。

共楽荘栄養管理

援助方針

ご入居者等の「食べる楽しみ」を重視した手作り料理を基本とし、安全・美味しい・食べやすい料理を提供していきます。個別に適切な栄養管理を行い、生涯経口摂取出来るよう多職種協働で支援していきます。
嗜好度が高く・季節感があり・五感を誘発する・おいしい・栄養のバランスが取れた献立作成に努めます。日々の生活に期待感や潤い、季節感をあたえる役割を担う行事食を提供していきます。
食への自立と満足度を高めるために毎月複数献立を実施、ご入居者等が自ら料理を選択、決定する機会を提供します。

方針の具現化に向けて

- (1)療養食・介護食
医師の指示により生活習慣病や咀嚼・嚥下機能障害がある方に適切な栄養管理・食形態での食事提供を行い、ご入居者等が経口摂取出来るよう努めます。なお、低栄養や摂食困難な方に対して栄養補助食品を提供します。
- (2)栄養ケア・マネジメント
ご入居者等個々の栄養スクリーニング、栄養アセスメントを行い、問題点を把握、栄養ケア計画に基づいて改善に努め、定期的にモニタリングを行います。多職種協働で栄養ケア・マネジメントを実施し、適切な栄養管理を行います。
- (3)衛生管理
大量調理マニュアル、HACCPに基づき調理室並びに調理器具類は清潔にし、検食(原材料・調理済食品)等実施し安全な食の提供をします。
- (4)災害時の対応
5日分の食料と食器類・ミキサー等の調理器具・その他調理に関する物を備蓄、ご入居者等の心の安定を保ちます。
第一糧食倉庫には食料と15回分の献立表と災害マニュアルを保管、第二糧食倉庫には濃厚流動食を2週間分備蓄し、誰でも即対応出来るよう職員に周知します。非常時に勤務している職員には食事を提供します。



共楽荘在宅福祉支援事業

援助方針

- ・ 居宅介護支援事業では、介護を必要とする状態となった高齢者やその家族に対し、自立した在宅生活を送ることができるよう総合的な相談に応じ、居宅サービス計画書(予防含む)を作成します。
- ・ 短期入所生活介護では、ご利用者が自宅で可能な限り自立した生活を送るために、入所期間中に必要なサービスを提供し、ご本人のADLの機能維持・向上、及びご家族の身体的・精神的な負担軽減を目的に、総合的な在宅生活質的向上に貢献できるサービスを実施します。
- ・ 訪問介護では、より一層各関係機関と密接な連携を図り、総合的に利用者本位のサービスが提供できるように努めます。
- ・ 施設入浴サービスでは、訪問入浴が困難で、通所サービスにおける入浴等も難しい方を対象に共楽荘特養ホームの特殊浴槽を利用して快適な入浴のサービスを提供をします。
- ・ 共楽荘きずなお弁当事業では、日常生活において食事準備を自立して行うことが難しい高齢者に対し、食生活の安定と安否の確認、相談を主眼としたサービス提供をします。

方針の具現化に向けて

- (1)居宅介護支援事業
 - ①居宅サービス計画の作成
要介護認定の申請やサービス提供確保、事業者等との連絡調整を行います。
 - ②介護保険認定調査
契約した市町村より委託を受けた介護保険認定調査を行います。
 - ③地域貢献
地域ケア会議や他の居宅介護支援事業所との勉強会等に積極的に参加します。
 - ④介護支援専門員の質の向上
介護保険サービス以外にも、医療、障害等の社会福祉制度の理解を深め、自立支援や公正中立な居宅サービス計画書の作成に努めていきます。
- (2)短期入所生活介護
 - ①ケアマネジャーやご利用者及びご家族と密なコミュニケーションをとり、地域のニーズに迅速柔軟に対応します。
 - ②積極的な挨拶、ご家族と密なコミュニケーションを図り、気持ちのいいサービス提供をします。
 - ③送迎時間にゆとりを持ち、送迎中の事故0を継続し安全な送迎を行います。
- (3)訪問介護
利用者が安心して自宅で暮らせるよう、サービスを提供します。
- (4)施設入浴サービス
要介護1～5の認定を受けている方で、自宅が狭く訪問入浴サービスが難しい、通所サービスに長時間滞在することが体力的に難しい等の事情がある方を対象に特殊浴槽を使用した入浴サービスを実施します。
- (5)共楽荘きずなお弁当事業
平日(年末年始、祝日の除く)の夕食提供をし、栄養のバランスはもとより、ご利用者の健康状態、摂食状態に合わせた療養食や安全で美味しく食べやすいお弁当を提供します。

共楽荘通所介護福祉サービスセンター

援助方針

法人の基本理念に基づくご利用者およびご家族、介護者との「きずな・信頼関係の構築」を大切に『ご利用者と家族に喜ばれるデイサービス』を目指し、創意工夫を重ね顧客満足度の向上に努められるよう業務展開します。そのために以下の目標を挙げ、目標達成をします。

方針の具現化に向けて

- ①ご利用者のニーズを満たすため、健康状態や体力等により、利用時間調整、地域のニーズに迅速柔軟な対応をします。
- ②レクリエーション、体操、運動器具など日課の充実により心身機能の維持向上だけでなく、有家族世帯や高齢者世帯、独居世帯に合った個別援助を中心にサービスの質の向上を目指し、通所計画に沿ったケアの提供をします。

食堂でつるしたいちごをもぎとり
いちご狩り体験をしました。



令和3年度いちご狩り

R4年3月25日(金)



三浦海岸へ河津桜を見に行きました!

R4年3月4日(金)



葉山 花ノ木公園〜ミサキドーナツへ

R4年4月20日(水) 特養 ミニドライブ





デイサービス通信



桜。。。咲いたよ！
みんなでお花見したいね！



デイサービスの華です。



ご利用者様もこの笑顔！



今年は、曇り空が多かった(涙)



窓から桜を見ながら昼食やおやつを楽しんで♪



衣笠山も
桜で化粧されています。



行事予定

葉月(8月)

町内会盆踊り……………5日
納涼会……………5日
夏祭り・御輿渡御……………7日

文月(7月)

七夕そうめん(養護・特養)……………7日
お盆仏供養会……………15日
ミニドライブ(養護)……………20日

水無月(6月)

野外活動(しょうぶ園)(養護)……………2日
野外活動(しょうぶ園)(特養)……………15日
手作りおやつ(養護)……………24日

やさしい心 ありがとう

令和4年1月～令和4年3月(敬称略)

湘南学院高等学校

PTA厚生委員会

——よりご厚志を頂きました



新任職員紹介

新しい仲間を紹介します。



① 平田 大樹
② 横須賀市
③ 音楽活動

④ 人として成長できるよう、感謝を忘
れずに頑張ります。



① 加藤 達也
② 神奈川県
③ 温泉旅行・観葉植物

④ 若い頃、仕事で共楽荘にお世話にな
り、久々に戻ってまいりました。よろし
くお願いします。



① 石黒 菜穂子
② 横須賀市
③ スノーボード

④ 一日でも早く仕事を覚え、皆様の役
に立てるよう頑張りたいと思います。

プロフィール

① 氏名 ② 出身地 ③ 趣味 ④ 入社にあたって一言



祝 おめでとうございませう

資格取得

介護福祉士

養護ケアワーカー

田中 美

特養ホームケアワーカー

三留 泰子

特養ホームケアワーカー

服部 昂

特養ホームケアワーカー

井上 千夏

特養ホームケアワーカー

木暮 輝美

編集後記

春の優しい陽の中で咲き誇る桜の花と少しず
つ解除されるコロナ禍の制限とで、閉ざされてい
た心が解き放たれる日も近いと思います。
新年度を迎え気持ちを新たに、楽しい記事
が掲載できるよう意欲的に取り組むことを思い
ながら、むつみ86号をお届けいたします。

(今井)





衣笠第一地域包括支援センターだより



発行日 令和4年5月15日

発行所 〒238-0031

横須賀市衣笠栄町4-14

社会福祉法人 阿部睦会

衣笠第一地域包括支援センター

電話 046-851-1963

ホームページ

<https://kyourakusou.jp>

Eメール

hokatu-1@mutumikai.or.jp

編集 衣笠第一地域包括支援センター

発行 阿部 厚三



冬の間に低下してしまった体力の回復を図るため、ウォーキングを始めませんか？

衣笠地区 野菜の販売所巡り

生産者のご家族が店頭で並べられています



①Magic 婦人服洋品店
住所：平作 8-1-2

②芹澤様宅前
住所：阿部倉 16-11



赤い自動販売機が目印です



季節のお花も買えるかも？

③田中様宅前
住所：阿部倉 21-21





包括の職員が4月から増えました！



生活支援コーディネーター

地域の中の支え合いを広げる活動に取り組みます。
ご近所の「集いの場」、「見守り・防犯活動」、
「地域での助け合い活動」等を教えてください！



加藤 達也

ケアマネジャー

住み慣れた地域で、その人らしい生活を
できるだけ長く続けられるよう お手伝いします。



木村 豊子

クーリングオフ、出来るの??

テレビショッピングなどの **通販(通信販売)** は
クーリングオフ制度がありません！

返品可能と紹介されていても
様々な条件が付いている場合があります。

返品が出来るか返品の条件があるか
電話等で注文するときには **必ず確認しましょう！**



わからないときはご相談ください！

参考：国民生活センター資料



衣笠第一地域包括支援センター

緊急時 24 時間対応

所在地 横須賀市衣笠栄町 4-14 共楽荘内

電話 046 (851) 1963

担当地域 : 平作・池上・金谷・阿部倉・衣笠栄町・小矢部 2 丁目、4 丁目